



2022年2月14日

各位

会社名 ローランド ディー・ジー・株式会社
 代表者名 取締役社長 田部 耕平
 (コード番号 6789 東証第一部)
 問合せ先 執行役員コーポレート本部長 小川 和宏
 (TEL. 053 - 484 - 1400)

中期経営計画(2021年度～2023年度)の見直しに関するお知らせ

このたびローランド ディー・ジー・グループでは、最近の業績動向等を踏まえ、2021年2月12日に公表した「中期経営計画(2021年度～2023年度)」を見直しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 背景

2021年度～2023年度の中期経営計画(以下、本中期計画)においては、基本戦略に「筋肉質な企業体質への変革」と「事業ポートフォリオの転換」を掲げ、計画の両輪と位置付けて取り組んでおります。

初年度の2021年には、主に「筋肉質な企業体質への変革」の実現に向けた構造改革施策を実施してまいりました。従来、国内工場とタイ工場の2拠点で展開していた量産機能をタイ工場へ移管、集約するとともに、本社では早期希望退職制度による人員の適正化を図りました。これら構造改革施策は概ね計画に沿った進捗となりました。

事業面では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や半導体を中心とした部品調達難、海上輸送の遅延や混乱などは当社グループの事業においても影響があるものの、経済活動の再開にともなって需要回復が顕著となっております。加えて、コロナ禍においても新たなニーズやトレンドが生まれ、これらを取り込むことで業績の回復・拡大に貢献しております。

こうした状況下、本中期計画の初年度となる2021年12月期に、最終年度(2023年12月期)の連結業績目標のうち営業利益目標を2年前倒しで達成したことを受け、あらためて各事業分野のニーズの変化を踏まえた中期事業戦略へと見直すとともに連結業績目標を再設定いたしました。

2. 再設定後の連結業績目標

(億円未満切り捨て)

		2021/12期 初年度 実績	2023/12期 最終年度 当初計画	2023/12期 最終年度 再設定後計画
売上高		450億円	480億円	540億円
営業利益		60億円	60億円	80億円
営業利益率		13.4%	12.5%	14.8%
ROE		13.9%	15%	17%
ROIC		13.0%	15%	15%
CCC		147日	120日	120日
為替レート	USD	109.81円	100円(想定)	113円(想定)
	EUR	129.93円	125円(想定)	128円(想定)

3. 連結業績目標再設定の前提

- ・コロナ影響にともなう経済活動の大幅な悪化は考慮せず
- ・部品調達環境は 2022 年度下半期より通常調達レベルと仮定
- ・物流混乱による販売面への影響は考慮せず
- ・想定為替レートは 2022 年 12 月期業績予想と同レートを使用(米ドル=113 円・ユーロ=128 円)

4. 事業ポートフォリオ戦略区分の更新

本中期計画方針の両輪である「筋肉質な企業体質への変革」と「事業ポートフォリオの転換」の基本戦略に変更はありません。しかしながら、当初の事業ポートフォリオ戦略では、戦略区分を「既存事業」「新興国事業」「新領域」の3区分としておりましたが、「既存事業」のなかでも成長を見込む市場や新たに成長可能性が見えてきた市場があることから、より明確にリソース配分を行うためには戦略区分の更新が必要であると判断し、再設定いたしました。なお、「新興国事業」および「新領域」は、事業ポートフォリオの転換において重視すべきテーマであることに変わりはないため、再設定した各戦略区分において引き続き取り組んでまいります。

戦略区分の再設定

ビジネスカテゴリー毎に区分することで、分野毎の動向を“見える化”するとともに、成長領域をより明確化するため、以下の通り、新たな区分に再設定いたします。

区分名称	用途・主要製品群	戦略の概要
ビジュアルコミュニケーション Visual Communication (VC) 	広告看板やディスプレイ装飾物 製作用大判インクジェットプリンター・インク	広告看板製作分野は成熟傾向にあるものの、屋内外装飾、店舗内装など消費者への視覚的訴求(=Visual Communication)ニーズは拡大しており、インク種類の多様化によるソリューション拡充で対象用途を広げるとともに、顧客基盤の維持拡大を目指します。
デジタルファブ리케이션 Digital Fabrication (DF) 	オンデマンドでパーソナライズ・カスタマイズを実現する製品群	当社製品のコンセプトである「多品種少量、小型コンパクト、オンデマンド、簡単操作、高品位」が活きる分野。パーソナライズ需要やニッチなニーズに応えるためのカスタマイズ需要など多品種少量をオンデマンド生産するためのプリンターやカッティングマシン、3Dものづくり製品群を小規模事業者(スモールビジネス)やインターネット通販事業者、小売事業者等に向けて提供します。これにより、新たな用途・市場を創出します。
デンタル Dental 	歯科補綴物(歯のかぶせもの・詰めもの)製作用デンタル加工機	2010年のデンタル加工機の発売以来、欧米や日本など先進国を中心に市場の拡大を推進してまいりました。今後においても、アセアンや中南米、東ヨーロッパ、中東、アフリカなどの「新興国地域」では歯科補綴物製作のワークフローのデジタル化進展が見込まれます。さらには歯科技工所のみならず歯科クリニック(歯科医院)への展開も視野に入れ、先進国・新興国を問わず当社のビジネスの柱として育成してまいります。
サービス・ソフトウェア&その他 Service, Software & Others 	サービスパーツおよび保守費用、コネクテッドサービス関連	サービスパーツの供給および保守サービスの提供に加えて、ソフトウェアによるコネクテッド関連サービスの提供によりSaaSビジネスの確立を目指します。

5. その他

財務戦略および配当方針につきましては変更ありません。

以 上